

新宿 3年ぶりに盛上がる コロナ禍の取り組みふり返る

【新宿・電気通信・関口弘記】1月18日、けんせつプラザ東京にて3年ぶりの新宿支部の旗開きを開催。組合員58人、来賓17人、書記局6人の合計81人が参加しました。感染防止対策として飲食は行な

わず、お弁当持ち帰りの形式で短時間の式典としました。伊藤委員長のあいさつから始まり、2020年から22年までの取り組みを振り返る映像を上映後、本部から千葉社会保障対策部長、西部プロッ



振り返り映像を食い入るように見つめる参加者

クから議長支部である渋谷支部の小倉委員長にあいさつをいただきました。国会からは衆議院副議長の海江田万里衆議院議員（立民）、山田美樹衆議院議員（自民）、山添拓参議院議員（共産）。また大山とも子都議会議員（共産）を始め、多くの区議の方々も参加していただきました。連合東京新宿地区協議会より八木信男議長を始め、地域の協力団体からも激励の言葉をいただきました。恒例の抽せん会も3年ぶりに行ない、短時間ではありましたが大いに盛り上がった旗開きとなりました。最後は新宿支部のさらなる発展を願い、団結カンパローで幕を閉じました。

感染対策で学習会 「社保運動は出発点」

【小金井 国分寺 小金井 国分寺】1月16日、小金井国分寺支部は、国分寺リオンホールで旗開きを42人の参加で開催。感染対策のため来賓を呼ばずに、新年学習会としました。鯉淵委員長からは、「コロナ禍でも、昨年は支部ボウリ



閉会あいさつをする佐々木青年部長

【小金井 国分寺・書記・星清志 通信員】1月16日、小金井国分寺支部は、国分寺リオンホールで旗開きを42人の参加で開催。感染対策のため来賓を呼ばずに、新年学習会としました。鯉淵委員長からは、「コロナ禍でも、昨年は支部ボウリ

ンク大会や住宅デーなど開催できた。仲間の運動が少しでもすんだことは重要」とあいさつがありました。学習は、「社会保障の現在と労働組合」と題して、元埼玉建中央執行委員で労働者教育協会常任理事の原富悟さんが講演。仲間の要求実現を出发点に、組合が社会保障運動の役割を果たす重要性を学びました。

佐々木青年部長の閉会あいさつでは、仲間の仕事と暮らし、憲法を守り、仲間づくりと組織強化をめざす決意が示され、団結カンパローで閉会しました。

三鷹武蔵野

地方選に要求掲げ 三鷹市長「絆深くして」

【三鷹武蔵野・書記・三澤克巳通信員】三鷹武蔵野支部では1月21日、吉祥寺エクセルホテル東急にて新春旗ひらきを開催、116人が参加しました。

ジャグリング大成功 当選自転車で訪問頑張る



ジャグリングに挑戦する野田副委員長(左)

【江東・書記・名越秀和通信員】江東支部は1月13日、「新春のつどい」を砂町文化センターにて87人の参加で開催しました。

まずは富樫委員長、来賓による「新年のあいさつ」から始まり、花岡副委員長の音頭による「お茶で乾杯」。三雲いおりさんによる「コメディジャグリングショー」を鑑賞しながら、お弁当を黙食で楽しめました。

三雲さんはお客さん参加型のスタイルなので、三輪女性の会会長や野田副委員長が代表で壇上に上がり、ジャグリングを成功させ、会場一体となり盛り上がりました。

次に「秋の拡大月間目標達成分会の表彰」の後に、お楽しみみの「抽選会」。電動機付自転車が当選した南砂分会の藤永さんは、「この自転車で拡大訪問行動を頑張るぞ!」と固く決意を述べました。最後は野田副委員長が「閉会のあいさつ・団結カンパロー」で締め、新年のスタートを切ることができました。

みんなで力を合わせて躍進の年に

動の声に、組合の存在意義を確かめることができました。

また今回の旗開きでは永年表彰が行なわれ、4人の対象者のなかから代表で南池袋分会の飛田文雄さん（91歳・在籍56年）に賞状と記念品が授与されました。

旗開きも終盤に差し掛かり、原田実行委員長から今回の旗開きの開催について感謝の思いが参加者と会場の関係者へと伝えられ、遠藤副委員長の団結カンパローに引き継がれ閉会となりました。



永年表彰を受けた飛田さん

豊島 動画上映に感動の声 飛田さんら4人が永年表彰

【豊島・書記・仁田 亮平 通信員】2023年豊島支部旗開き・65周年記念式典が、1月20日にリビエラ東京で75人の参加で開催されました。

まず、宮本委員長の新年に向けての支部組織人員増勢の決意が力強く語られ開会。続いて来賓から共闘のあいさつをいただき、鏡開きから乾杯へと順調に式が進ま

した。

昨年の組合運動を編集した動画の上映では、工夫して取り組んできた組合活動を振り返りつつ、来賓の方からの感



花小金井分会の決意表明

小平東村山

組合の意義唱える 花小金井から新加入報告も

【小平東村山・書記・吉岡直将通信員】1月20日に小平市福祉会館にて、「2023年新春旗開き」を開催し、総勢53人の出席がありました。

冒頭の井上執行委員長のあいさつでは、2022年を総括。ウクライナ侵攻から、また続くコロナ禍、果ては国民を苦しめる大増税の強行。仲間を守り続ける組合の意義

は閉会のあいさつの中で、今年も諸運動の前進をめざして、協力していくことを訴えました。最後は、団結カンパローでお開きとなりました。

菊地副委員長



島村委員長あいさつ

三鷹市の河村市長からは「昨年、住宅デーを見学させてもらい、社協への募金にも協力いただき大変感謝しています。これからも防災分野の協力など絆を深くしていきたい」と発言がありました。

最後に恒例のお楽しみ抽選会を行ない、大いに盛り上がり旗ひらきは終了しました。

各分会の決意表明では、花小金井分会から「分会内事業所から新加入の知らせがあった。トンネルの先の光明がわずかだが見えてきている」といった報告もありました。